

北葛だより

みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax 0745 (55) 8725

メールアドレス: mituko38@amber.plala.or.jp



11月定例奈良県議会 一般質問

2018年12月7日

11月定例奈良県議会で今井光子議員が、防災対策、がんと仕事の両立(以上、前面に記事)、高校再編問題と耐震化、宮堂遺跡問題(裏面)で一般質問を行いました。

防災対策の抜本的見直しを

今井 南海トラフ巨大地震の発生確率が30年以内に70%、50年以内に90%と迫る中「防災対策」の根本的転換が求められている。(1)防災を無視した開発をやめ、防災まちづくりをすすめること、(2)観測体制の整備、地域・自治体の防災力を強化、(3)すべての被災者を対象にした生活と生業の再建、被災者の自立にむけた支援。防災対策は、災害の発生を抑え、予防対策を重視した対策に転換が必要。想定外では済まされない。奈良県の防災対策を抜本的に見直すべき。

知事 これまでの災害はもとより、平成30年7月豪雨災害による甚大な被害を教訓として、被害を未然に防ぎ、尊い命ができるかぎり失われないように災害への予防対策、備える対策が重要だ。11月6日の県市町村サミットには、命を守る行動、命を守る備えの対策例を示すとともに、災害による被害を減災につなげることを提起。今後とも本県の防災対策をたえず見直し、改善に努めたい。

今井 県の計画には原発が入っていない。福井の原発からは100キロ圏内に入る。原発事故も想定した計画を作るべき。

防災拠点施設の実態はどうか

明らかになった4つの防災拠点施設の実状

	競輪場	第2浄化センター	吉野川浄化センター	消防学校
耐震化	×	●	●	×
備蓄 (水、食料、おむつなど)	●	×	×	●
防災無線 (有線、無線、衛星電話)	●	●	●	●

(×:なし ●:あり)

今井 奈良県は防災拠点施設に陸上自衛隊駐屯地誘致を要望しているが、2月県議会で知事は私の代表質問に、自衛隊誘致を待つことなく防災拠点整備を進めると答弁している。整備の見通

るよう頑張ります。

ひまわり

2月1日、河合町で学校給食の研究発表会があり、参加しました。学校給食に地場の食材活用はずっと言い続けてきました▼県は食材の数で割合を出していましたが、それでは実際どれくらいの分量を使っているかがわかりません。実数をつかむように改善を求めました。学校給食で子どもの栄養バランスと、奈良県の農業を結び付けて地場のもので活用すれば確実に売れるものを作ること、農業も発展します▼奈良県下の中学校給食もほぼ100%に広がりました。若い栄養士さんの報告では契約栽培を始めて野菜の消費量が格段にアップしたとのこと。「奈良の日給食」では行事食を取り入れ北葛郡郡が一緒に取り組み、全体で97%まで地元食材の給食が実現できたとのこと▼報告を聞いておもしろい涙が出てきました。毎日100%になれ

しはいつ頃になるのか。

当面、競輪場、第2浄化センター、吉野川浄化センター、消防学校の4か所を県の防災拠点施設と位置付けているが、耐震や、備蓄、防災無線など機能するものになっているのか。(左下表を参照)

※県広域防災拠点施設設置事業 消防学校の移転と県広域防災拠点施設設置の計画(五條市)では防災拠点施設の具体的実態は未だに明らかにされていません。これまで「大規模災害時に対応するヘリポート」と言っていたのが、奈良県は引きつづき「陸上自衛隊駐屯地誘致の推進」に予算をつぎ込み、計画地には2000年の滑走路計画も浮上しています。

県管理河川の洪水浸水想定区域の策定状況について

今井 洪水ハザードマップについては、平成27年に水防法が改正され、これまでの降雨規模を見直し、想定最大規模の降雨によって洪水ハザードマップなどを作成し、住民に周知することが市町村に義務づけられた。

市町村が作成するためには、県管理河川における洪水浸水想定区域が示されなければならないが、その策定状況はどうか。

山田 県土マネジメント部長

水防法の改正にともない、奈良県では指定する際に用いる公布を、例えば「100年に一度ぐらいの規模」から、想定最大規模「1000年に一度程度」に見直され、現在、これを踏まえ、23の「水位周知河川」について見直しをすすめているところ。

今年度中に16、残りの7を平成31年、来年に指定するよう準備をしており、その後、市町村に情報提供する。

がん治療と仕事の両立について

今井 2人に1人ががんになる時代、がん治療と仕事の両立は重要。多くの患者が悩んでいる。がんの仕事の両立を図るため県としてどのような取り組みを行っているのか。

林 医療政策部長 多くの方が治療と仕事を両立している一方、平成29年の調査では3割が仕事をやめ、1割が再就職できない状況。県では仕事に関して患者や関係者との意見交換やがん相談支援センターで就労相談を行っている。

奈良労働局と県内事業所の人事担当者を対象とした研修会を開催するなど雇用主の理解を促進する対策を行っている。産業保健総合支援センターの両立支援促進員が患者と事業者の個別の調整を支援する仕組みの活用も促している。

県立高校統廃合計画

ルール（*1）に基づかない計画は白紙撤回を

*1 県立高校将来構想審議会の設置及び運営に関する要綱

来構想審議会（以下「審議会」という。）を設置する

今回の高校再編適正化計画はあまりに急ぎすぎ

前回

審議期間	2012年7月～2015年6月 2年11か月
審議会	要綱に基づいて設置
議事録	公開
最終答申	具体的な整備計画の立案に当たっては、「学識経験者や教育関係者、保護者、産業界等各界からなる検討委員会を設置するなど、コンセンサスを図りながら、できる限り早期に整備計画を策定し、着実に実施される必要がある。」

今回

審議期間	約2年間
審議会	設置せず 教育委員会内部で検討
議事録	関係者外極秘

2018年6月8日に突然発表

今井 6月8日に県立高等学校適正化実施計画の具体的な内容が示され発表直後から大きな反対の声が上がった。

希望をもって入学した学校がなくなると言われた子ども達、毎日学んでいる学校が危険校舎と判明した子ども達、子どもを見守る保護者、様々な形でかかわってきた地域などどれほどの人々の気持ちを傷つけているかわからない。前回の審議会「答申」をどのように受け止められたのか。

また、「県立高校将来構想審議会の設置及び運営に関する要綱」があるにも関わらず、今回なぜ審議会が設置されなかったのか伺いたい。

吉田教育長 県民の皆様には校名等の情報を早期に発表できなかったことについては、反省すべき点であると認識している。審議会については今回、改めて確認した。平成13年9月28日付で審議会の廃止と委員の解職がおこなわれており、審議会は閉じられたものと認識している。県教育委員会としては、前回、再編後も答申の趣旨を踏まえて、総合学科の設置や県立中学校の設置に取り組んでおり、もともと審議会を開く必要はないと考えていた。

今井 審議会は閉じて「要綱」残っている。適正化計画を作るのであれば要綱に基づき審議会を設置するべきだ。

県立高校耐震化問題 42億円で実現 奈良高校は現地建て替えを

今井 奈良高校の校舎や体育館の耐震性が国の基準を大幅に下回り、保護者からも耐震問題に万全の対策を求める署名が提出された。奈良高校の建て替えが必要なことは当初から県は認識しているが、未だ対策がなされていない。

奈良高校側からも校舎を含めた現地建て替への要望が出され2016年3月には現地建て替が可能との調査結果があったにもかかわらず、適正化の議論を踏まえて「先送り」されたという経緯がある。子どもの安全より、いかにコストを抑えるかを優先した結果ではなかったか。

知事への対応の遅れは教育委員会だと発言し、教育長はこの間のツケが回ってきたといわれているが、要は教育予算の削減が大元にある。

予算があろうとなかろうと子どもの安全を守る学校施設を作ることは教育行政の大前提。この際、「県立高等学校適正化実施計画」を白紙に戻して奈良高校を現地建て替え、存続要望の強い平城高校を残すべきと考えるが、どうか。

吉田教育長 学校再編の対象校については存続の要望があることは認識をしている。要望が強ければ残す、逆に、要望がなければ「ない」という、そんな考え方にもつながる。私はそのような思考をもって再編成化を推進しているわけではない。私は奈良県教育の質を高めたいとの強いマインドをもって、この適正化計画を実施してきた。



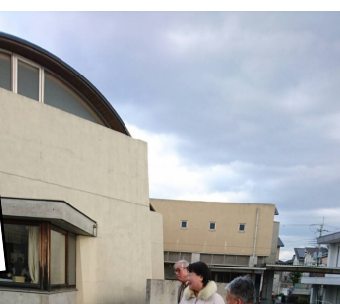
宮堂遺跡の一般公開・見学会の開催を（要望）

今井 河合町河合の宮堂遺跡から古墳時代や飛鳥時代の集落跡、および縄文時代の土器が発見された。本来なら保存のための調査を行うべきところ、町の予算もなく大規模な発掘はできていない。町内の人にも知られていない。道路ができてしまうと永久施設で永遠に見ることはできなくなるため、一般公開の見学会をぜひ、開いていただきたい。

資料 県立高校将来構想審議会の設置及び運営に関する要綱

（設置）

第1条 社会の変化や生徒の多様化に対応した県立高校の教育内容の一層の改善及び充実と、今後の生徒数の推移を展望した県立高校の規模と配置の適正化など、県立高校の今後の教育の在り方について検討及び審議するため、県立高校将



広陵町 県道河合高田線、バス通りなのに歩道もない危険個所に、危険な場所を知らせるポールとカーブミラーの安全対策（上中写真）

河合町 小学校のウッドデッキが老朽化して危険。視察しました（右上写真）

王寺町 泉の広場に防災拠点施設が完成（右写真：耐震化で王寺工業高校を視察）

上牧町 地域の防災対策を調査（避難所となる学校に完成した「かまどベンチ」：左上写真）



願いのあるところ
どこへでも
今井光子のフォトレポート

今井光子議員の政務活動を写真で紹介します



コミバスやデマンドタクシーなど地域公共交通のいっそうの充実のため、北葛城郡の共産党地方議員団で香芝市を視察しました。
「買い物難民」を生み出さないために